

農協だより

2020. 1 月  
No.583

# たしき

## 謹賀新年

グランドチャンピオン  
受賞祝賀会  
12ページ～



新穀感謝祭  
13ページ～



年金友の会  
四国3県巡り  
10ページ～





# 「第9次地域農業振興計画」の達成に向け、令和2年が大樹町農業にとって輝かしい年となることを願って

大樹町農業協同組合

代表理事組合長 坂井 正 喜

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、輝かしい新年をご家族お揃いでお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃より農協事業に対し、深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて昨年は、積雪量が極めて少なく例年より早い春の始まりとなったものの、以降の雨量も少なく干ばつ傾向で春耕の最盛期を向かえることとなりました。5月下旬には、観測史上類を見ない程の高温・猛暑日があったかと思うと、初夏は一変、曇天で長雨の日が多く、作物の生育への影響を懸念した時期もありました。

ただ、そんな状況の中でも、一番草はほぼ全ての圃場で適期収穫が行われ、良質な粗飼料を確保することができました。二番草においては一部収穫の遅れがあったものの、7月下旬に本来の夏の気候が戻った以降は、適度な雨量と温度にも恵まれ、特に飼料用とうもろこしが順調に生育、大きな台風の影響を受けることも無く収穫を向かえることができたことは、次年度への大きな財産となりました。

昨年も生乳生産では引き続き右肩上がりの傾向が続き、前年比で3パーセントを上回る110,902tの実績となりました。

一方、畑作物についても、豆類で一時停滞期があったものの結果的には平年作を確保、馬鈴しょ、てん菜においても順調な生育となりました。中でも小麦が、過去最高となる10・7俵を記録するなど、耕種においても総じて順調な生育、生産となりました。これも偏に、生産者各位の日頃のたゆまぬ努力の賜と、深く敬意を表するところで

## 役員

専務理事 太田 福 司

理 事 西 川 久 雄

理 事 山 下 善 一

理 事 畔 木 主

理 事 水 野 義 博

理 事 前 田 昌 文

理 事 山 下 益 雄





# 年頭のご挨拶

ございます。ただ、唯一豊作ならではの価格低迷が野菜市況で発生したことは、今後も継続事案として様々な対処方法を模索して参りたいと考えております。

さて、国内外における近年の関連情勢等を見ますと、引き続き国際的な貿易交渉の波が一段と勢力を強めながら、着実にその機をうかがっているかのように映ります。

ただ、その一方では「協同組合思想」がユネスコの無形文化遺産に登録されるなど、我が国の各協同組合が一致団結することによって、地域が抱える様々な課題を解決するための機構「JCA」が発足されております。これはJ Aにおいても、集う様々な立場の人々が、決して競争するのではなく「共に生きること」、「共生する社会創り」のシステムとして世界的に評価されたものであり、そこに結集する仲間であることを誇りとしながら、更なる対話運動の実践を通じて、より強固な絆を土台にした新たな協同組合の創造と、食と農でつながるサポーターづくりによって、その輪を広げていくことが、時代に求められた私達の使命であることを確信しております。

当J Aグループ北海道においては、第29回J A北海道大会で再確認した、将来ビジョンである「北海道550万人と共に創る力強い農業と、豊かな魅力ある農村」の早期実現に向けて、各々が果たすべき役割をしっかりと担ってゆくことを都度確認して参りました。

合わせて当J Aにおきましても、平成29年に策定した「第9次地域農業振興計画」がいよいよ後半の4年目を向かえる年となり、酪農畜産販売支払高120億円、農産販売支払高20億円、生乳生産量12万トンのほか、掲げた目標の全てを達成するためには、結果から逆算した、より具体性のあるプランニングが必要不可欠であり、重要なマストとなって参ります。

農業を取り巻く環境、決して予断を許さない状況が続いておりますが、協同の力を更に結集・発揮し、組合員、J A、そして系統組織や関係する組織・地域が一丸となって、目標の達成に向け、共に取り組んで参りましょう。

最後に、本年が組合員の皆様にとって、実り多い一年となることをご祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

代表監事 藤原幸一

監事 坂根昌幸

常勤監事 河村俊彦

参事兼務理事 角屋貴之

他職員一同

酪農部会長 山下博

畑作部会長 立川敏広

園芸部会長 高場得光

種子生産部会長 菊地繁雄

和牛生産  
改良組合長 岡本透

# 年頭のご挨拶



北海道農業協同組合中央会  
会長  
飛田 稔 章

組合員並びにJA役職員の皆様には、輝かしい令和2年の新年を迎えられたものと心より、お慶び申し上げます。

皆様におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに對して、改めて敬意と感謝を申し上げます。

昨年の北海道農業は、春先に道内各地において強風に見舞われ、広範囲にわたり農業被害が発生し、一部蒔き直しが必要になった地区も発生しました。

その後は干ばつ等もありましたが、天候は順調に推移したことで収穫も進みました。お米の作況指数が104の「やや良」、小麦、てん菜は平年作以上となる結果となり、生乳は良質な飼料作物確保による安定的な生産が見込まれ、作目によって違いはありますが概ね良い出来秋を迎えることができたと感じております。

しかしながら、全国的には8月末に発生した九州北部豪雨や、9月、10月と東日本を中心に大きな被害をもたらした台風15号、19号など、大規模な災害が発生した年となりました。

北海道においても一昨年、胆振東部地震により多くの支援を頂いた経過にあり、JAグループ北海道として全国連と協力し積極的に支援をして参りたいと考えております。

国際貿易交渉については、昨年2月1日に日EU・EPAが発効

となり、日米貿易協定は昨年10月に署名がなされ、国会審議を経て12月4日に承認案が可決されました。日米貿易協定の影響試算では、1,100億円の生産減少額のうち3〜4割が北海道への影響とみられており、JAグループ北海道として北海道農業への影響を最小限に食い止める対策や、生産者の不安を払拭することを昨年より国等に対して要請を行っております。今後も動向を注視し、北海道農業が犠牲とならないよう毅然とした対応を求めてまいります。

さて、JAグループ北海道は、昨年11月12日に第29回JA北海道大会決議事項の実践事例や現状の課題を、JAグループ全体で共有すること、内外に実践状況を発信すること目的として、JA北海道大会実践フォーラムを開催したところです。

引き続き、組合員・JA・連合会・中央会が一体となり、大会決

議事項の実践に取り組み、基本目標の達成につなげてまいります。結びになりますが、今年の干支は庚子（かのえね）です。子には、「ふえる・しげる」の意味があり、種子の中に新しい生命がぎざし始める状態だといわれています。

今年はこの庚子年にあやかり、農業にとって輝かしい未来が芽生く年となること、併せて北海道農業並びに組合員、役職員の皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。新年にあたってのご挨拶といたします。



## 令和2年の年頭にあたり





J A 大樹町 青年部  
部 長  
前 田 竜 志

## 年頭のご挨拶

### 青年部らしくくつながりを大切に

新年あけましておめでとうございます。組合員そして盟友の皆様におかれましては、晴れやかな気持ちで良い新年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

天候が不安定で厳しい1年となりましたが、今年度の青年部といたしましては、活動の幅が広がり、とてもよい1年になったのではないかと考えております。

2月に、生涯学習センターで行われた冬季イベント（真冬の感謝祭）においては、（商工、漁協、役場、農協）の各青年部の協力によりたくさんの町民の方々に来場していただき、無事成功を収めることができました。

また直接町民の方々と触れあえたことが貴重な体験であり、大変勉強になりました。

今年度も、小学校食育事業を行い、小学校の圃場で大豆、人参、キャベツ、とうもろこし（ポツ種）を栽培しました。授業は計四日間行い、小学生たちは、日々成長していく作物を観察し、成長した作物を収穫する喜びを感じていました。人参、キャベツはその場で収穫し、新鮮なもの食べてもらいました。大豆は不作に終わりましたが、とうもろこし（ポツ種）の種は収穫でき、その場で調理し、できたてのポツブコーンを堪能してもらいました。生産から消費までを体験してもらいとてもうれしく思います。

7月には、商工会青年部主催のビアガーデンに参加させていただきました。毎年好評のクレープを提供し、不慣れな作業に戸惑いながらも長蛇の列が出来るほどの大盛況となりました。

また視察研修においても例年

では冬季の日程でしたが、天候などの心配により、本年度は7月の日程にしました。例年と違うので、人数が集まるか心配でしたが、無事集まることができました。視察先は鹿追町のバイオガスプラントに行き、近年問題視されている糞尿処理について勉強し盟友の方々との親睦が深められたと思います。

本年度の活動も残るは、広尾線ブロック交流会と冬季イベントの二つとなりましたが、青年部らしくくつながり大切に、自己を高めるために頑張つて活動していきます。

最後になりますが、十勝青年部協議会の年間テーマにある（紡ぐ）の言葉を胸に、部員ひとりひとりが繋がり、より活発で組織力のある青年部になるために頑張つて活動していきます。

最後になりますが、残り少ない任期となりましたが、少しでも多くの部員に楽しんでもらえるように活動していきます。よろしく願います。

### 役員

部 長	副 部 長	副 部 長	理 事	理 事	理 事	監 事	監 事
前 田 竜 志	半 谷 勇 人	高 松 佑 樹	阿 部 真 基	菊 地 陽 介	半 田 佑 介	辻 本 洋 平	戸 枝 紘 規

# 年頭のご挨拶



J A 大樹町女性部  
部長  
金 曾 千 春

新年あけましておめでとうございます。皆様には令和になつて初の新年をお迎えの事、心よりお慶び申し上げます。また、日頃より関係機関をはじめ、女性部員の皆様にはご理解と温かいご支援、ご協力を賜り心から御礼申し上げます。

さて、近年を思うと自然災害が多く、農業の被害も同時に増え、復興が終わらないうちに新たな被災地も増え、戸惑いを感じます。又、今後TPP等の進展による安価な農産物輸入による影響も多岐に出てくる前に、足腰の強い経営を築いておく事も必要だと思えます。さて女性部の活動を振り返りますと、6月には2泊3日の関東方面研修旅行を行ない、相田みつを美術館、鶴岡八幡宮、河

口湖、どしゃぶりの富士山5合目等視察し、夕食時には皆で盛り上がり、楽しい交流の時間を過ごしました。

7月には環境美化の一環として紫竹ガーデンを見学し多彩な花々が咲き乱れ、美化に対する意識も高まったかと思えます。11月には昨年に引き続き、北海道ホテルでの料理講習会を行ないました。普段食べている秋鮭と海老の包み蒸し等、少し工夫をすれば見た目も綺麗な一品に。簡単なテーブルマナーも教えていただきました。その他食育活動、乳製品試食PRも行ないました。

エルダーの方には花植えや草取りも手伝って頂き、例年よりJA前の花壇も鮮やかになり、また、カステラ作りや視察研修等、いつも活発に活動してくれています。ずらん会の方も視察研修等、参加人数は多くはないですが、これからも無理せず活動をして頂きたいと思えます。

さて男性の皆様、「幸せにするから」と求婚して何年たったでしょうか？奥様達は生き生きとしていらつしやいますか？女性達が輝いていればこそ大樹町の農業の未来も明るいでしょう。今後も女性部活動のみならず、

女性達が仕事においても生き生きと、また、参加しやすい環境づくりにご家族のご理解とご協力の程よろしくお願い致します。

最後になりましたが、4月から事務局も代わり、不慣れな点も多く、ご迷惑をおかけした事もあるかもしれませんが、今後の成長に期待をして、温かく見守っていただければ幸いと存じます。そして今まで諸先輩、女性達が繋げてくれた組織を次年度の役員に引き継ぐまで役員一同、楽しみながら取り進めて参りますので、ご参加の程よろしくお願い致します。

本年が皆様にとって最良の年でありますようご祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

## 役員

部長	副部長	理事	理事	監事	監事
金 曾 千 春	穀 内 弘 美	青 木 貴 子	山 下 美 枝	川 原 美 幸	佐 藤 伸 子
				宮 嶋 智 美	

## 女性が生き生きできる活動を







大樹町農民協議会  
会 長  
水 下 英 治

## 年頭のご挨拶

### 「継続を力にして」

新年あけましておめでとう  
ございます。

盟友の皆様には、ご家族と  
共に新年を迎えられた事を心  
よりお慶び申し上げます。

昨年は新元号「令和」が始  
まりました。作物においては  
全体的に良く、多少の作業の  
遅れはあったものの、豊作と  
呼べる年になったと思います。  
特に酪農においては、一番草、  
二番草、デントコーンと良い  
品質の粗飼料が取れ、健康な  
牛・乳量の伸びが期待され、  
乳価もキロ100円が見えて

きて希望が膨らむ年になった  
と思います。畜産においては、  
市場での価格は多少の下降傾  
向にありますが、まだ高水準  
で取引されています。しかし、  
輸入牛肉の影響が少しずつ出  
てきて不安が残っております。  
また、農業全体において資材  
等の高騰には不安を感じます。  
さて、当協議会においては、  
全道、全国の盟友と共に理不  
尽な日米貿易協定に反対して  
いますが、政府は合意に至っ  
た経緯や内容について丁寧な  
説明も行っておりません。更  
に具体的な国内対策が示され  
ていない中で成立を拙速に進  
めていますが、発行ありきの  
姿勢は絶対に認められるもの  
ではありません。地域を支え  
る家族農業はもとより農業社  
会の崩壊に追い込まれるの  
はと不安と不満を募らせてい  
ます。これに断固反対すべく

継続して活動をしていきます。

本年も当協議会は、北海道  
農民連盟の一員として農家や  
農協、指定団体の機能が損な  
われないよう強く求める活動  
を行っていきたいと思います。

令和二年目が農業者にとつ  
て良き農政になるよう取り組  
んでまいりたいと思いますの  
で、盟友の皆様にはご理解と  
お力添えをお願いしたいと思  
います。

今年も皆様にとつて良き年  
となりますよう、ご健康とご  
多幸を御祈念申し上げ、新年  
の挨拶とさせていただきます。



### 役 員

監 事	監 事	代表監事	常任委員	常任委員	常任委員	常任委員	常任委員	常任委員	事務局長	副会長	副会長	会 長
辻本	水野	鈴木	前崎	村瀬	白取	廣瀬	鈴木	森田	猪飼	村崎	瀬川	水下
洋平	敦	和昭	卓也	正紘	雄二	洋司	輝彦	稔	敬司	隆一	嘉浩	英治
畑対委員	税対委員	畑対委員	税対委員 (青申副会長)	酪対委員	酪対委員	酪対委員	畑対委員長	酪対委員長	畑対委員	税対委員	税対委員長 (青申会長)	地区執行委員 ／酪対委員

青年部

大会テーマ

「紡ぐ〜想いをひとつに

新しい時代へ」

第44回 J A十勝青年部大会

11月27日、ホテル日航ノースランド帯広において、「第44回J A十勝青年部大会」が「紡ぐ〜想いをひとつに新しい時代へ」をテーマに開催された。

この大会は、十勝地区農協青年部協議会が主催し、十勝管内24J Aから約590名が参加。当J A青年部からも7名が参加した。

主催者を代表して、堀江貴博会長が挨拶。また、来賓者を代表し十勝地区農協組合長



来賓を代表し挨拶する坂井組合長



会場で流れた1分間CM

午後からは、「農業農村の魅力を発信しよう！」をテーマに、各単組毎に地域農業の

果たす役割に対する消費者の理解促進に向けた動画を作成し、その放映会が行われた。当青年部は、残念ながら入賞とはならなかったが、大樹町農業と地場の特産品をアピールした。その後、分科会として①農業技術部会②農業経営部会③畜産経営部会にそれぞれ分かれ、参加者達は講義の内容を熱心に聞き入っていた。

閉会後は、参加者による懇親会が行われ、アトラクションの「アームレスリング大会」や「純農Boyオーディション」が行われた。当青年部からは菊地理事がアームレスリングに挑戦、優勝とは成らなかったが、熱い対戦を繰り広げて会場を盛り上げていた。



分科会のようす



J A 青年組織綱領の朗唱



懇親会の様子



白熱したアームレスリング

青年部

交流会

さつまいもの試食

11月5日、BAR "Equa1" において青年部交流会を行い13名が参加した。

この会は、青年部部員の活性化と参加率の向上を目的として開催。当日は、青年部活性化事業で収穫したさつまいを試食し、出来高を確認したり、料理やお酒を楽しみながら参加者全員で親睦を深めた。



さつまいもの試食



女性部

## クリスマス料理に提案！

### シェフの実演調理

料理講習会 in 北海道ホテル

11月28日、帯広市の北海道ホテルにおいて、部員19名が参加する中、料理講習会を実施した。

当日は、同ホテルの料理長が講師となり、「秋鮭と海老の包み蒸し バターソース」を実演調理した。今年の講習は「家庭でも簡単にできるクリスマス料理」をテーマに、難しいバターソースを作る際のアドバイスなど、プロの目線から調理方法を教わった。料理長からは、「手間はかかる料理だが、難しいものではない。」と。



料理長の実演調理の様子

ない。是非愛情を込めて料理して欲しい」とのアドバイスがあった。

その後のランチタイムでは、講習を受けた料理の他に、前菜やスープ、鶏肉を使った料理やデザートを堪能しながら、同ホテルのスタッフに講師を依頼し、椅子の座り方や乾杯の仕方、ナイフとフォークの使い方などテーブルマナーの基礎を学んだ。

部員からも活発な質問があり、何気なくしている食事の振る舞いを改めて学ぶ機会と



秋鮭と海老の包み蒸し バターソース

なった。

講師からは「マナーとは相手を不快な思いにさせないこと。しかし、楽しみながら食事をするのが一番」と説明があり、美味しい料理を食べながら、楽しいひとときを過ごした。



マナーに倣って乾杯♪



最後は参加者全員の集合写真

## J A北海道大会実践フォーラム

北海道550万人と共に創る

「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」

11月12日、札幌市教育文化会館において「J A北海道大会実践フォーラム」（J A北海道大会実践委員会主催）が開催された。

当J Aより太田専務、前田竜志青年部長、穀内弘美女性副部長、職員2名の5名が参加した。

フォーラムは、大会決議の実践状況を共有・発信することを目的に開催され、全道のJ Aや連合会、青年部、女性部の代表者が集まった。



会場のようす

基調講演では、日本経済新聞社より「農業の未来と農協への期待」とした講演があり、海外で行われている天候に左右されない野菜の栽培技術や国内外のマーケティングについて話があった。

実践事例では、J AこしみずとJ Aさつぽろが「農業所得の増大」と「多様な担い手の確保・育成」について発表を行い、J Aグループ全体で実践事例を共有した。



J A綱領の朗唱

# 四国3県巡り

年金友の会旅行

J A年金友の会（川原和夫会長）では、10月22日から25日の日程で、「四国3県巡り」を実施した。会員25名（男性15名・女性10名）と職員2名が参加し、愛媛・香川・徳島の四国3県を巡った。

1日目は、愛媛県にある松山城と道後温泉へと向かった。松山城は、松山市中心部に位置する城山（勝山）山頂にある平山城造りで、会員はロープウェイにて城の麓まで上り、本丸や堀野に広がる二ノ丸、



松山城へと向かう一行



うどんの説明と試食のようす

三之丸を見学した。宿泊した道後グランドホテルでは、長距離移動の疲れをおいしい食事や温泉で癒した。

2日目は、愛媛県のタオル美術館と香川県の総本山善通寺、こびら温泉郷を見学。タオル美術館は、今治市にあるタオルとアートが融合したミュージアムで、タオルの製造行程やヨーロッパアンガーデンなど様々な施設を楽しんだ。次に訪れた総本山善通寺は、四国霊場八十八カ所の一つで、弘法大師空海の誕生の地、三

大霊跡として知られており、空海ゆかりの国宝や大楠を見学した。2日目の宿である、ことひら温泉琴参閣では、食事とお酒・カラオケを楽しみ、会員間の交流が図られた。

3日目は、うどん県といわれる香川県の石丸製麺所を見学。会社の歴史や文化、うどんの伝統的な製法と最新の製法を学んだ後、本場のうどんの味を楽しんだ。次に訪れた瀬戸大橋タワーは、四国の玄関口、瀬戸大橋のたもと瀬戸大橋記念公園にある回転式展望タワーで、会員はUFOのような円盤型の展望室に入り、



総本山善通寺にて



タオルの製造工程の見学

地上108mまでゆっくり回転しながら上昇する中、絶景を楽しんだ。同じ香川県にある栗林公園は、300年近く前に完成した国の特別名勝に指定されている文化財庭園で、一千本もの見事な手入れ松とともに、一步一景といわれる変化に富んだ美しい庭園を楽しんだ。

最終日は、徳島県に移動し、うずしお観光船に乗船。徳島と淡路島を結ぶ大鳴門橋の下にできる世界三大潮流の鳴門海峡の渦潮を観光した。次に訪れた大塚国際美術館は、鑑賞ルート約4キロという国内

最大規模を誇る美術館で、環境展示や系統展示、テーマ展示といった方法で展示された美術を楽しんだ。



食事を楽しむ参加者





年金友の会

# 文芸・ゲームの集い

## 第4回



大樹中学校による吹奏楽演奏

J A 年金友の会（川原和夫会長）では、11月16日に J A 会議室において、会員 204 名（男性 63 名、女性 141 名）参加のもと、「第 14 回文芸・ゲームの集い」を開催した。

主催者を代表して川原会長が開会挨拶。J A を代表して、坂井組合長が祝辞を述べた。

文芸は、2 部構成となっており、第 1 部の「大樹中学校吹奏楽部」では、部員が担当する楽器の紹介や、演奏に聞き入っていた。第 2 部は釧路



広尾警察署の講演の様子

方面広尾警察署より「詐欺被害防止・交通安全」について講演。高齢者運転による情勢、事故についての話があった。運転に不安がある人には免許証の自主返納を勧める等、自分が事故を起こさない、巻き込まれないよう指導を受けた。

昼食後は、恒例のゲーム大会を行い、「ビンゴゲーム」や「カローリング競技」、「抽選会」で会員達は楽しいひと時を過ごし、小林浩副会長の閉会挨拶により幕を閉じた。



恒例の「カローリング」



景品を受け取る会員たち



農業機械を視察するようす

11月19日と20日の両日で、農事組合長視察研修を実施、当日は農事組合長6名、専務理事、担当理事、担当者の10名が参加した。一日目は日本ニューホランド苦小牧デボを視察。農業機械が海外から入荷され商品の組立作業、出荷前点検の行程、部品庫、工場などを視察し、トレーニング

## 農事組合長視察研修

日本ニューホランド苦小牧デボとホクサン株式会社を視察

センターで最新のGPS機器の説明を受けた。

二日目は、ホクサン株式会社を視察。工場内を視察後、研修室にて各除草剤の説明を受けた。座学では現在、町内で多く使用されている商品と今後、推奨される商品の比較をしながらの研修となった。



ホクサン株式会社で説明を受ける参加者

# グランドチャンピオン受賞祝賀会



左から穀内和夫さん、隆志さん

11月15日、J A会議室において参加者88名の出席の下、振別農事組合(株)エンブレムーK牧場の第17回北海道畜産共進会2019グランドチャンピオン受賞祝賀会を行った。発起人を代表し、J A大樹町坂井組合長が挨拶。その後、実績紹介や花束の贈呈が行われた。



会場のようす

農作業の中で、ショウウに出品し上位を受賞することや体格審査ではエクセレントを目標することを目指してきた。これから大樹町の出品者や同志会の仲間、関係機関に感謝しながら、全道出品と牛群レベルの向上を目標にして頑張っていきたい」と挨拶。

その後は、(株)雪印メグミルク大樹工場和泉工場長による乾杯のもと祝宴が始まり、受賞の喜びを分かち合った。



懇親会のようす



会場に飾られたトロフィー

## 大樹町酪農部会 役員視察研修

苫小牧埠頭株式会社視察・乳製品消費拡大

11月6日と7日の両日、酪農部会役員視察研修を実施、役員及び関係機関合わせて、18名が参加し、札幌方面へと向かった。

1日目は、苫小牧市の「苫小牧埠頭株式会社」を視察。会社概要の説明を受けた後、北日本最大級となる穀物サイロを見学した。当施設では、世界各国から船積みされた飼料原料のようすや病害虫を持ち込まないことを目的とした飼料安全法を遵守するための徹底された安全管理の方法を視察した。

2日目は、札幌三越前において、国産乳製品の消費拡大を道行く市民にPRした。用意した雪印さけるチーズやパンフレット1,000セットは、40分程で全て配布された。



視察の様子



消費拡大PR



## 消費税研修会



11月11日、JA会議室において、消費税改正についての理解を深めるため「消費税研修会」を開催し、21名が参加した。研修では、税理士法人オーレンス事務所に講師を依頼し、10月に行われた新しい税制の対応について、一般的な部分と農業に係る部分について講義がなされ、出席者からは活発な質問が出ていた。

## 北海道ホルスタインウインターフェア



10月27日、音更町の十勝農協連家畜共進会場において、2019北海道ホルスタインウインターフェアが開催された。

全道より137頭が出品され、審査員は根室管内中標津町の酪農家久保剛氏が務め、14部門で体型の美しさや資質の良さなどを競った。

大樹町からは6戸8頭を出品し、第11部（3歳クラス）に出品したエンブレムK（振別農事組合）所有のエンブレムKドアマンジョアンナET号が一等一席に輝いた。また、中学1年生から高校2年生を対象としたリードマンコンテストも開催され会場を盛り上げていた。

## 新穀感謝祭



11月22日、大樹神社において、新穀の豊かな実りを祝うため新穀感謝祭が開かれ、JA役職員や関係団体、町内団体の代表者等28名が出席し、今年の収穫に感謝しながら、益々の発展を祈願した。

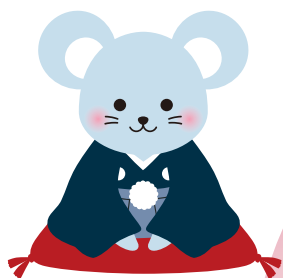
出席者を代表し坂井組合長は「今年は生産者各位の努力により、飼料作物、生乳生産、畑作物全般が好調で、平年作以上の成績となった。来年もより一層の生産に向け努力していく」と決意を述べた。

## 担い手センター帯広交流会



11月23日、大樹町農業担い手センター（坂井正喜理事長）では、アパホテル帯広駅前において、婚活交流会である「大樹町農業青年とホワイトキナチュラルガールとの出会い」を開催した。

当日は、大樹町農業青年7名と帯広市などから9名の女性が参加した。1対1での自己紹介から始まり、ビンゴゲームやホテルの食事を楽しんだ。2次会では中間印象を基に席を決定し、景品が当たるジェスチャーゲームを2組に分かれ行い、盛り上がりを見せていた。最後に印象チェックを発表。複数のカップリングが成立し、交流会を終了した。



# 2020年は子年



今年で12歳になるねずみ年キッズをご紹介します。  
ご協力いただいた皆様ありがとうございました。



【日方地区】  
鈴木 楓未卯ちゃん

健生さんの長女  
(H20.9.5生まれ)

体育を  
頑張ります。



【中島地区】  
一円 翔大くん

剛さんの長男  
(H20.1.25生まれ)

勉強を  
頑張ります。



【拓進地区】  
白石 智也くん

慎一さんの二男  
(H20.6.25生まれ)

全道大会目指して、  
サッカーを頑張ります。



【上中島地区】  
辻本 千愛ちゃん

仁さんの長女  
(H20.6.28生まれ)

社会の勉強を  
頑張ります。



【下大樹地区】  
三木 彩花ちゃん

隆志さんの長女  
(H20.7.12生まれ)

全道大会目指して  
吹奏楽を頑張ります。



【中島地区】  
氏家 心優ちゃん

健太郎さんの長女  
(H20.1.3生まれ)

苦手な数学と年少から  
続けている日方川  
太鼓を頑張ります。



【日方地区】  
鰐木 悠ちゃん

崇さんの長女  
(H20.1.16生まれ)

苦手な体育を  
頑張ります。



【振別地区】  
穀内 美優ちゃん

隆志さんの長女  
(H20.1.19生まれ)

勉強と習い事のバ  
レエを頑張ります。



【上大樹地区】  
梶澤 良介くん

明宏さんの二男  
(H20.9.13生まれ)

野球を  
頑張ります。



【大和地区】  
水野 祥希くん

直人さんの二男  
(H20.9.1生まれ)

勉強を  
頑張ります。





# JAネットワーク十勝の動き

JAネットワーク十勝

組合員の皆様に、ネットワーク事業の推進状況をご報告申し上げます。

## 1. 生産・販売の強化について

- 平成28年度に策定した「十勝農業ビジョン2021～世界に誇る十勝農業～」に示した基本姿勢に従い、5年後の農業生産額の目標3,500億円達成に向けて取り組んでいます。中間年に当たる本年は、「十勝農業ビジョン2021」に示した目標を達成するための課題への取組状況について、会員 JA へのヒアリングを行うなど、今後の取り進め方針について検討を進めています。
- 「Made in 十勝」ブランド事業については、「ホクレンくるるの杜での対面販売」「とかちマルシェ」、「HTB 創世マルシェ」などのイベントに出店したほか、十勝和牛振興協議会、ミルクランド北海道事業とも連携して、会員 JA 特産品の PR に努めています。また、「ごちそう共和国通信」を発行し、会員 JA の取り組みを共有するとともに、十勝統一の PR 戦略として知名度向上に取り組んでいます。
- 「十勝型 GAP」については、農林水産省の示す「農業生産工程管理（GAP）の共通基盤に関するガイドライン」にチェックリストの内容を準拠させ、全生産者を対象として、引き続き取り組んでいます。また、国際水準 GAP の取り組みについては、十勝地区農協組合長会と連携し検討を進めています。

## 2. JA経営の強化について

- 平成22年度に策定しました「管内 JA 全体の経営戦略」に基づき、優秀な職員の確保・育成のために、専用ホームページによる管内 JA 職員採用情報の提供を行っています。

# JAグループ通信

## JA北海道中央会



J Aグループ北海道は11月14日に東京都にて、「経営所得安定対策の単価改定」と「総合的なT P P等関連政策大綱の見直し」に向け、道内与党国会議員や農林幹部に対する中央要請、並びに農林水産省と意見交換を実施しました。経営所得安定対策では3年に一度の単価改定の見直し議論が行われていることから、輪作バランスや畑作経営に対する影響を考慮し、単価が大きく変動しない単価設定とすることや、各作物の生産振興対策などを求めました。T P P等関連政策大綱の改訂にあたっては、相次ぐ大型貿易協定の発行による、中長期的な北海道農業に与える影響が大きいと、各作物別の需給調整・価格安定対策の充実強化、生産基盤の強化に向けた対策を求めました。

今後も、北海道の農家、組合員が安心して営農できるよう取り組んで参ります。



## JA北海道信連



収穫体験や調理体験等の独自イベント、「旬食カレッジ」は今年で4年目となり、今回は一般の女性の方々を対象に、8月、江別市で開催しました。また、全道各J Aの協力を受け、今年度から新たに「親子で学ぼう！あぐりキッチン教室」を、全道各地で延べ25回開催しました。これらの食農教育活動を通じて、食や農に対する関心を高め、J A・J Aバンクのサポーターを育てる取り組みを行っています。



## JA共済連北海道



J A共済連北海道は、「2019年度 J A共済全道小・中学生交通安全ポスターコンクール」の表彰式を10月26日(土)にA N Aクラウンプラザホテル札幌にて開催しました。46回目を迎える同コンクールは、全道より3,296点の応募をいただき、その中から金賞9作品が選出され受賞されたみなさんが表彰されました。

今回受賞された作品は、さっぽろ雪まつり会場・道庁ホールでの展示等が予定されております。



## ホクレン



ホクレンと北海道米販売拡大委員会は10月17日、北海道産の2019年新米発表会を東京都内で開きました。発表会には鈴木直道・北海道知事とCMキャラクターを務めるタレントのマツコ・デラックスさんらが出席しました。ホクレン内田和幸会長より「今年は、ご満足いただけるおいしい北海道米をお届けできます」とアピールし、マツコさんはステージ上で新米を試食し、「実は一番好きなのがこの『ふっくりんこ』と楽しいトークで盛り上がりました。



## JA北海道厚生連



10月23日(水)ホテルポールスター札幌において、令和元年度北海道福祉のまちづくり賞の表彰式が行われ、J A北海道厚生連特別養護老人ホーム摩周が公共的施設部門の「北海道福祉まちづくり賞」を受賞しました。この賞は福祉的配慮に優れた公共的施設等におくられるもので、福祉・建築・市民活動等の有識者で構成する会にて審査が行われ表彰が行われました。この賞を機に施設としての充実だけでなく、入居者の皆さんの生活の充実に向けて更なる向上を目指したいと思います。



J Aグループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介しします。各団体の詳しい取り組み内容はW E Bサイトをご覧ください。





# 年末・年始の組合業務

は営業日

月 日	12/28	12/29	12/30	12/31	1/1	1/2	1/3	1/4	1/5	1/6	年末仕事納め	年始仕事始め
部 門	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月		
企 画 管 理 課											12/27 17:00	1 / 6 (月)
経 営 相 談 課											12/27 17:00	1 / 6 (月)
貯蓄共済課(貯金)	ATMのみ							ATMのみ			12/30 17:00	1 / 4 (土)
貯蓄共済課(共済)											12/27 17:00	1 / 6 (月)
酪 農 振 興 課											12/27 17:00	1 / 6 (月)
(生乳検査業務)											12/31 17:00	1 / 6 (月)
畜 産 販 売 課											12/27 17:00	1 / 6 (月)
生 産 改 良 課												
農 産 販 売 課											12/27 17:00	1 / 6 (月)
生 産 資 材 課											12/27 17:00	1 / 6 (月)
燃料課	セルフ給油所			17:00		8:30~ 17:00	8:30~ 17:00				12/31 17:00	1 / 2 (木)
	カーケアセンター										12/27 18:00	1 / 6 (月)
農 機 車 両 課	8:30~ 12:00										12/28 12:00	1 / 6 (月)

授 精 業 務	12/31~1/3の授精出動は午前7時30分より、授精受付は午前11時までとなります。
生 乳 検 査 業 務	12/28・31、1/3の9時まで搬入したサンプルは体細胞・抗生物質共に当日検査 12/29・30、1/1・2・4・5の午前9時まで搬入した分は、抗生物質検査のみ当日検査
生 乳 集 荷 業 務	平常どおり
初 生 ト ク 集 荷	年末ご用納め 12/27(金)、年始ご用始め 1/6(月)
一 般 廃 用 買 付	年末は、12/19(木)まで受付し、年始は、1/6(月)から受付します。
病 畜 処 理 場	年末ご用納め 12/26(水)受付 午前12時まで搬入、年始ご用始め 1/6(月)
レンダリングプラント	年末ご用納め 12/30(月)受付 午前9時まで、自搬入は12時まで 年始ご用始め 1/6(月) 死亡畜発生都度FAXで申込 (☎0155-37-4623 北海道環境衛生社)
1/22 乳牛市場申込	1/6(月)まで申し込んで下さい。
燃料課	セルフ給油所 年末ご用納め 12/31(火)午後5時、年始ご用始め 1/2(木)・3日(金) 午前8時30分から午後5時まで営業
	カーケアセンター 年末ご用納め 12/27(金)午後6時、年始ご用始め 1/6(月)午前8時30分から

## 理事会の動き

第10回 11/28

### ★報告事項

- 1 J A取扱家畜事故処理要領の制定について
- 2 農産物集荷状況について
- 3 令和元年度大根の本精算について
- 4 資金の貸付について
- 5 理事に対する資金の貸付について
- 6 内部監査の結果について

### ★付議事項

- 第1号 理事に対する資金の貸付の変更について  
協議・承認
  - 第2号 固定資産の取得について  
協議・承認
  - 第3号 購買業務規程の一部改正について  
協議・承認
- ★協議事項  
第1 令和2年度営農の取組について  
協議

## 広尾警察署からのお知らせ

### 冬の暴力追放運動

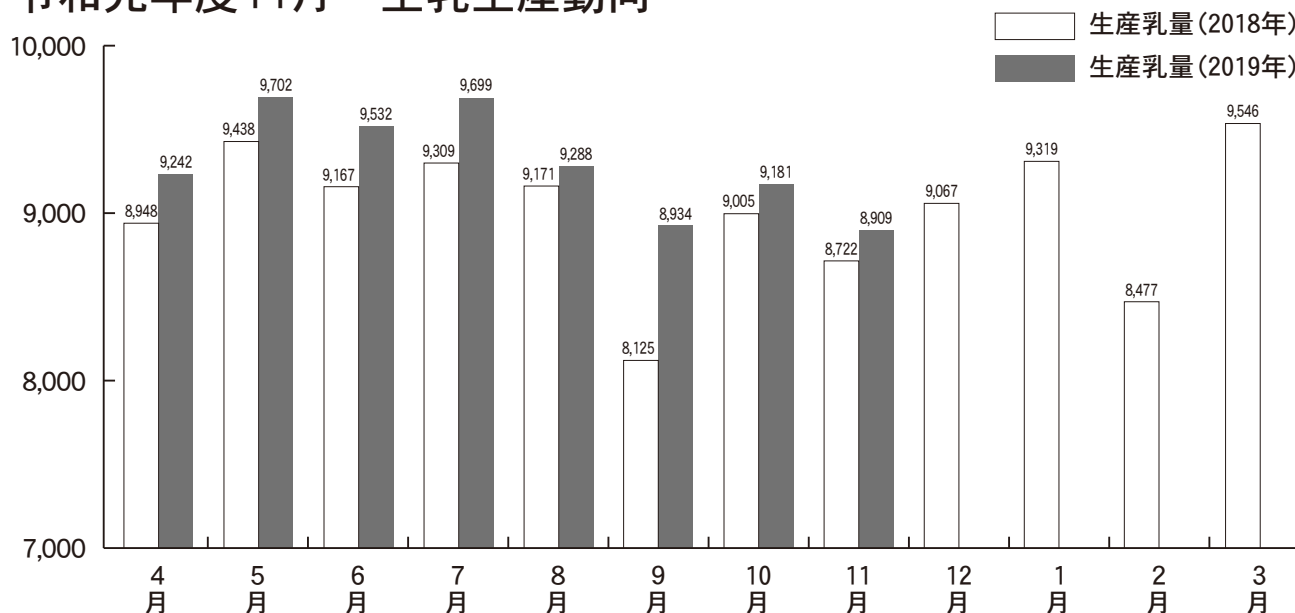
令和元年12月15日(日)から令和2年1月14日(火)までの間は、『冬の暴力追放運動』の実施期間です。

- 運動の重点目標は、  
①暴力団の違法な資金獲得活動の実態周知と被害防止  
②少年に対する暴力団の影響排除と環境の浄化です。

暴力団を『利用しない』『恐れぬ』『金を出さない』、暴力団と『交際しない』の  
暴力団追放  
「三ない運動+1」  
を合言葉に暴力のない  
明るく安全な地域社会の  
実現を目指しましょう。

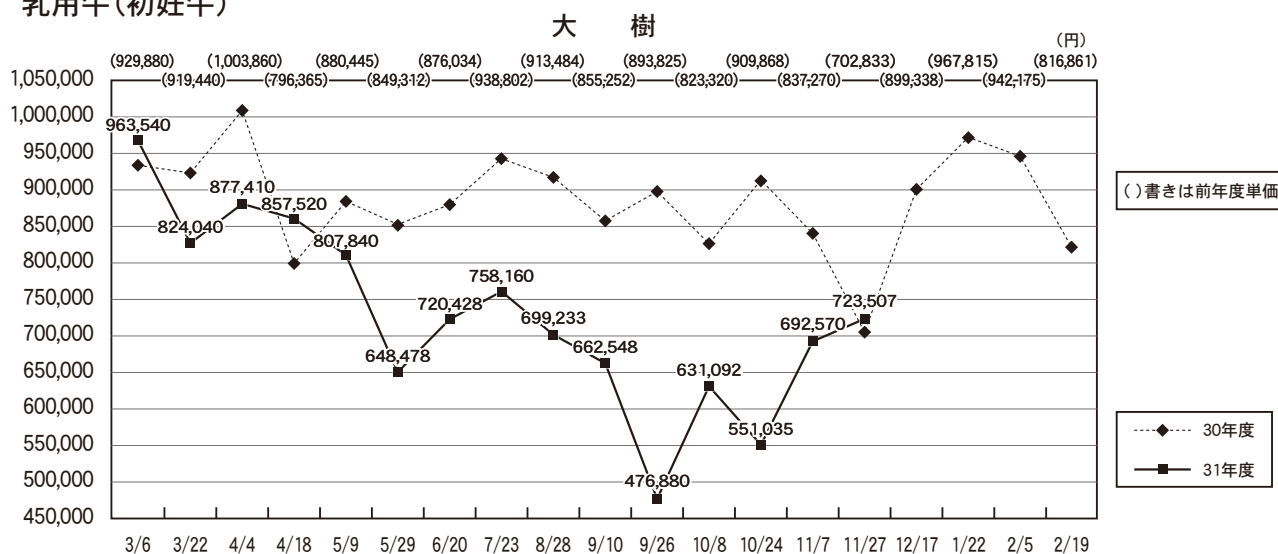
【広尾警察署  
2101101】

## 令和元年度11月 生乳生産動向

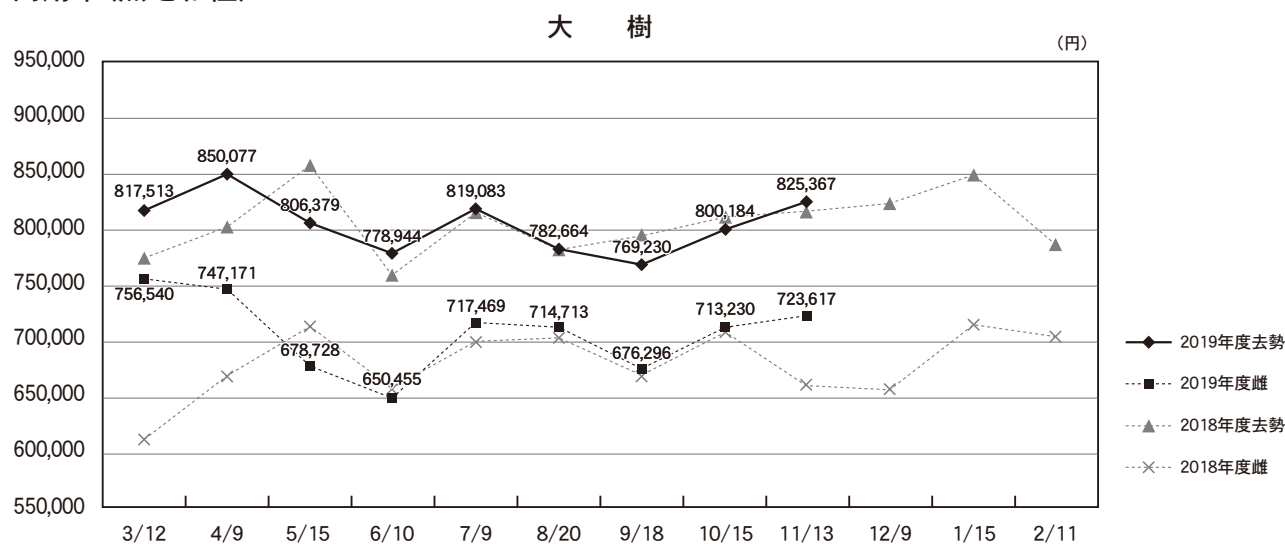


## 家畜市場の成績

### 乳用牛(初妊牛)



### 肉用牛(黒毛和種)





## 正解者10名に大樹TMOカードが当たる

## 頭の体操

## クロスワードパズル

## クロスワードパズル

## タテのカギ

①「生麦生米生卵」とか「東京特許許可局」とか

⑥夫の配偶者です

⑦生まれたばかりの赤ん坊のこと

⑧ゆつくりつかって「極楽、極楽」

⑨剣や弓矢、大砲などのこと

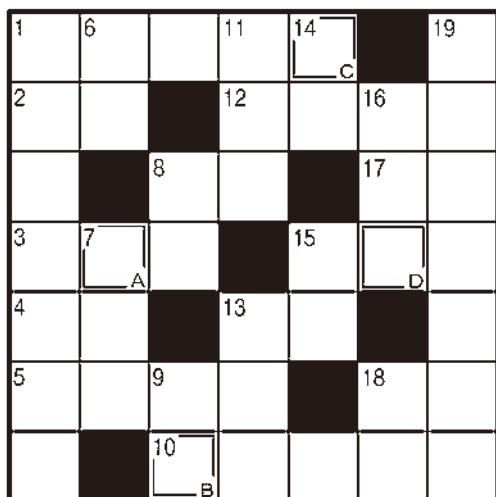
⑪首の後ろ側の部分

⑬——をのんでなりゆきを見守った

⑭刑事を意味する俗語

⑮お酒は飲めない体質です

⑯こたつに似合う果物



⑱の記号で表すことも

⑲だて巻き、数の子、黒豆などを重箱に詰めて用意します

## ヨコのカギ

①元日の寺社が混雑する理由

②霊峰も銀峰もこれです

③バイオリンやビオラより大きな弦楽器

④魚偏に里と書く魚

⑤破(わ)れ鍋にお似合いです

⑧——ニタカ三ナスビ

⑩擦りむいた膝やあかぎれに塗ります

⑫浅草寺の表参道にある——商店街

⑬今より前の時点

⑮てこの——を利用して重い物を動かした

⑰グーとパーではパーの方

⑱英語ではkingと言います

⑱英語ではkingと言います

## 12月号の答え

A B C D E  
ク リ ス マ ス  
でした。



## 当選おめでとうございます

## 当 選 者

(大光) 姉崎 充子さん	(大光) 高田 忠昭さん	(豊里) 藤内 堅治さん	(尾田) 村瀬 眞美子さん	(尾田) 天野 千由紀さん	(拓北) 吉田 英昭さん	(東和) 向井 稔さん	(東和) 高場 得光さん	(萌和) 川原 まどかさん	(萌和) 米谷 馨さん
--------------	--------------	--------------	---------------	---------------	--------------	-------------	--------------	---------------	-------------

■ 解き方 Ⅱ 普通のクロスワードの要領で全部を解いて下さい。

次にA↓Dの二重ワクの文字を順に並べると、一つの言葉ができます。それが答えです。

■ 締切り Ⅱ 1月10日(当日消印まで有効)

■ 届出 Ⅱ 本所企画管理課、生産資材課の専用投書箱へ。

■ とじ込みハガキをお使い下さい。郵送する場合は63円切手をはって下さい。

■ 賞品 Ⅱ 大樹TMOカード(正解者多数のときは、抽選で10名の方に)

■ 職員とその家族の方はご遠慮下さい。

■ 12月号の応募者は18名で、全員が正解されました。抽選の結果、次の方々が当選しました。

当選した方には大樹TMOカードをお届けいたします。

未来を拓く協同組合 JAと農業

未来を拓く協同組合

JAと農業

監修＝JCA  
日本協同組合連合会

世界の課題「食料安全保障」

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」では、「飢餓をゼロに」を目標の一つに掲げました。このことに象徴されるように、命に直結する食料で人々が困ることがないようにする食料安全保障は、世界に共通する課題です。

日本は食料の多くを海外から輸入しています。そのため、世界的な人口増加による食料需要の増大や、気候変動による生産減少などが国内の食料供給に影響を及ぼす可能性があり、国民の不安も高まっています。

将来にわたって食料を安定的に確保していくには、国内の農業振興を通じて食料自給率を高める必要があります。JAグループは、自己改革の目標の一つとして「農業生産の拡大」を掲げ、その実現に向けて営農・経済事業の強化に従来に増して力を入れています。また、農業振興を地域全体で後押しするために、准組合員等の地域農業の応援団化にも取り組んでいます。

語句解説

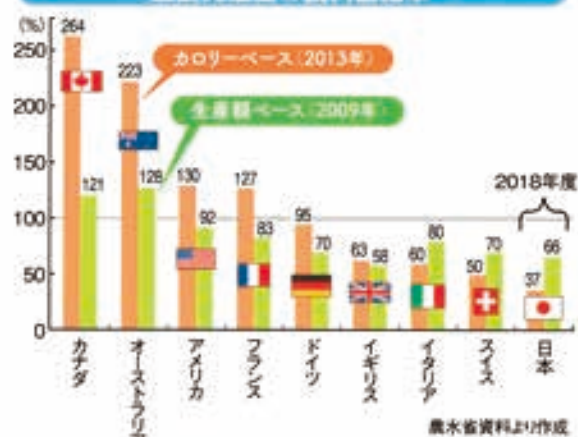
【食料自給率】(しょくりようじきりつ)

食料自給率は「国内の食料消費が、国産でどの程度賄えているか」を示す指標。わが国の食料自給率は2018年度、カロリーベースで37%(前年度から1ポイント減)の過去最低となりました。これは主要先進国の中でも最低水準です。生産基盤も弱体化しており、直近5年間をみると耕地面積は毎年2.3万ヘクタールずつ減り、農業就業人口は約59万人減少しています。

➤ 食料安全保障とは

全ての人がいかなる時にも、活動的で、健康的な生活に必要な食生活上のニーズと嗜好(しょう)を満たすために、十分に安全かつ栄養ある食料を、物理的、社会的および経済的にも入手可能であるときに達成される状況。ー国連食糧農業機関(FAO)はかー

主要先進国の食料自給率



組そう、大地と地域の未来。

イラスト・情報コーナー

イラストは濃くていいに書いて下さい。  
(あまり薄いと掲載出来ないことがあります。)

イラスト・情報コーナー



下大樹

へたクソでごめん♡さん(31歳)

イラスト・情報コーナー



幸徳

たかだ きらとくん(6歳)

イラスト・情報コーナー



東和

れーなちゃん(4歳)